

街の元気 ● みんなの元気を応援します ●

VIVID city

ビバ
シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報 117

特集 柔道整復師⑤

災害現場での柔道整復師の活動

役員改選、新体制がスタート

VOL.

31

2023
July

西田幾多郎記念哲学館
思索の道

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します ●

VIVA **ビバシティ** city

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報117

VOL.
31

2023
July

C O N T E N T S

1 巻頭言

会務遂行に力を尽くします ニッ谷 剛彦

2 第48回定時総会を開催

5 喜びの受賞者

7 令和5・6年度 役員・理事紹介

嶋谷清会長退任のご挨拶

11 [特集] 柔道整復師⑤ 災害現場で活躍する柔道整復師

14 講演会／研修会

19 (公社)石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会

21 サポート接骨石川(SSI)活動報告

① 加賀温泉郷マラソン2023

② 第72回 金沢百万石まつり

23 新・体の常識 ストレッチ編

24 教えて先生! コルセットの正しい付け方は?

25 第29回 石川県柔道整復師協同組合通常総会開催

27 secret spot 西田幾多郎記念哲学館

28 トピックス

新入会員紹介

30 令和5・6年度 各部・各委員一覧

巻頭言

かんとうげん

会長就任にあたり— 会務遂行に力を尽くします

Viva Cityご愛読の皆様には、日頃より公益社団法人石川県柔道整復師会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

本年度は役員改選の年にあたり、定時総会において第12代会長を拝命いたしました。長年本会の運営にご尽力頂いた前会長嶋谷清先生には、心より敬意を表し感謝申し上げたいと存じます。その後継として会務を遂行すべく本会の舵取りを任される重責を痛感しております。

「和を以て貴しとなす」の名言にありますように、会員の皆様が心穏やかに、相手の気持ちを考え、周りとのつながりを大切にしていくことを念頭に、一つひとつの会務にあたりたいと考えております。今回、信任された理事も新たな気持ちと各々の職責を自覚すると共に、各部署業務との連携を図りながらスタートしており、執行部一丸となり柔道整復師業界の発展のために邁進していく所存です。

さて5月5日、能登地方を震源とする地震が発生し、珠洲市を中心に震度6強を観測しました。本会では、地震発生後直ちに会員の安否確認と被害状況を会独自の連絡システムを利用して行いました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、施術所の一部損壊被害が報告され、急ぎ5月7日に執行部数名で被害地区の会員宅へ向かい被害状況を視察し、お見舞いとお手伝いをさせて頂きました。油断が許されない状況が続く能登地区の皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧、復興を願っております。

一方、収束が見えなかったコロナ禍の状況も、5月8日の厚生労働省による5類感染症移行により、法律に基づいた様々な要請・関与の

■ニッ谷 剛彦

(ふたつや たけひこ)
(公社)石川県柔道整復師会 会長

【プロフィール】

平成17年より理事を務め、以来、事業部長、保険部長、金沢北支部長等を歴任。平成27年4月に副会長に、令和5年5月に第12代会長に就任する。



仕組から国民の一人ひとりの自主的な取組をベースとした対応へと変わりました。行動制限も緩和され、マスク着用に関しても強制をしない方向になりましたが、わたくしたち施術所においては、病院の医療現場と同じように患者様にマスク着用のご協力をお願いしております。以前のように、お互いの笑顔の交換ができる日が来ることを心待ちにしております。

そのような行政機関の方向性がはっきりしてきた中、わたくしたちが新たに取り組んできたものの一つが、高齢化社会における介護予防の分野です。柔道整復師機能訓練指導員の資格を十分に発揮できるようフレイル予防も含め、学術部が中心となり安全で有効な体力機能向上に向けたマニュアル作成を進めてまいりました。そのマニュアルを会員が積極的に活用することにより、患者様の健康維持増進に役立てていけるよう事業を進めていきたいと考えています。

結びになりますが、県民の皆様が健康で安心して暮らせるよう、本会会員一同一層の努力をしていく所存です。今一度読者の皆様におかれましては、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

第48回

定時総会を開催

～役員選挙、新体制で今年度がスタート～

令和5年5月21日(日)、地場産業振興センターにおいて第48回(公社)石川県柔道整復師会定時総会が開催され、役員選挙、表彰状授与式等が行われました。役員選挙は、公益社団法人に移行して初めて投票により行われ、ニッ谷剛彦会員が第12代会長に就任されました。

第48回 定時総会

(9時30分開会)

総会員数 / 293名
出席者数 / 118名
委任者数 / 152名
欠席者数 / 23名

1、開会の辞

ニッ谷 剛彦副会長

2、会長挨拶

嶋谷 清会長



柔道整復師が社会で活躍するための基盤を整えていることを報告。

まず、長年理事として本会のためにご献身頂いた故松江義則先生に深く感謝申し上げます。

約4年に及ぶコロナ禍もようやく沈静化し、久々に明るい思いで定時総会を迎えることが出来ました。

先ごろ、石川県柔道整復師会が石川県鍼灸師会、石川県鍼灸マッサージ師会と共に石川県医療計画に参入することが決定し、日整と厚労省の交渉によりマイナンバーカード読み取りカードリーダーを国の予算で全柔道整復師施術所に配布されることになりました。

また、現在作成中の機能訓練・フレイル予防マニュアル会員講習用テキストについてはほぼ完成しております。各施術所で訓練を希望する患者さんには、このマニュアルを活用した運動指導で高齢者のフレイル予防に貢献して頂きたい。皆さんで意見を出し合ってこの事業を大きく育て、柔道整復師が地域の医療に貢献するという大志をもって取り組んでまいります。

(要旨抜粋)

3、議長・副議長選出

議長に坂井秀一会員(金沢南支部)、副議長に高出伸也会員(金沢南支部)を選出。



坂井議長(左)、高出副議長により審議が進められた。

議事録作成人・署名人の選出

作成人 / 山田 誠会員(能登支部)

署名人 / 嶋谷 清会長

坂田 浩之会員(金沢北支部)

河村 三紀会員(金沢南支部)

5、議案(審議事項)

①令和4年度事業実施報告に関する件

担当 / 西川 典孝総務部長

制限がない中での総会開催は実に4年ぶりとなった。



新型コロナの5類感染症移行で会の事業運営にも明るい兆しが。

②令和4年度収支決算報告並びに
監査報告に関する件

担当/津田 佳之 経理部長

津田経理部長の説明の後、山下純二、大徳勇
両監事より監査報告があり、適正に会計処理が
行われている旨報告された。

③役員選挙に関する件

担当/宇野 幸治 選挙管理委員長

三国 政樹 副委員長

宇野幸治選挙管理委員長より、総会当日の投
票及び当日欠席会員の代理人選任届、議決権行

使書による選挙結果により、会長、副会長、理
事、13名、監事1名、
日整代議員2名、日整
補欠代議員1名の当選
が報告された。



公益社団に移行
して初めて投票
による役員改選
が行われた。

6. 報告事項

①令和5年度事業計画に関する件

担当/西川 典孝 総務部長

②令和5年度予算に関する件

担当/津田 佳之 経理部長

7. 閉会の辞

堂本 義邦 副会長

石川県接骨師連盟総会が
開催される

令和5年5月21日(日)午後1時より、石川県地場産業
振興センターにおいて石川県接骨師連盟総会が行われまし
た。議長に坂井秀一委員、副議長に高出伸也委員を選出
し、次の議題について審議しました。

【議 題】

- ① 令和4年度事業実施報告に関する件
- ② 令和4年度収支決算報告並びに監査報告に関する件
- ③ その他

各議題とも詳細な説明と報告があり質疑応答の後、賛成
多数にて承認されました。

なお、総会には佐々木紀衆議院議員、下沢佳充県議会議
員、荒木博文金沢市議会議員、岡田直樹衆議院議員の丹後
秘書がお見えになり、ご挨拶を頂戴しました。

■ 委員総数 293名 ■ 出席者数 119名
■ 委任者数 152名 ■ 欠席者数 22名



佐々木紀衆議院議員



下沢佳充県議会議員



荒木博文市議会議員



岡田直樹衆議院議員
(丹後智浩秘書)



新入会員の長谷かほり会員(当日出席)があいさつを行った。

総会終了後、昨年度入会した長谷かほり会員(金沢南支部)と森川達也会員(金沢南支部の)紹介がありました。

また、6月18日(日)に新潟県で開催される北信越ブロック学術大会において石川県

代表として発表を行う浅居長太郎会員(金沢北支部)が、西剛志学術部長より紹介されました。



学会での発表に向けて、抱負を述べる浅居会員。「足関節屈伸動作時の足趾優位の動作によるリスク」をテーマに発表を行う。

表彰状授与式

午前11時30分より、総会の席上で表彰式が行われ、本会の事業運営に貢献された会員に表彰状が贈られました。



馳知事は受賞者へのお祝いとともに本会の活動に対して感謝の言葉を述べられた。

今年度の石川県知事表彰は、竹野敬治、三国政樹、坂井秀一の3名の会員が

日常の診療に加えて災害・スポーツ救護などでも活躍する柔道整復師の皆さんによって県民の健康が増進し、医療、福祉、介護がさらに充実していくことを期待しています。

受賞。馳浩知事よりお祝いのお言葉を賜り、表彰状と記念品が授与されました。受賞者を代表して坂井会員が「柔道整復師として利他の姿勢『患者ファースト』をモットーに、地域の皆様の健康増進の一助として貢献してまいります」と謝辞を述べました。



受賞者を代表して坂井会員が謝辞を述べた。

本会
会長表彰

永年会員表彰

石川 雅義
谷 修
(会員歴25年以上)

日整表彰

生涯学習認定会員

長永孝仁・中西 勝・小倉弘行・高橋真哉・北浦 久
橋本大衛・田中寿人・東 勝一・田村修一・山崎一平
木山隆久・丸田克幸・河村三紀・城寶忠信・五十嵐久智
堀松郁子・山田 誠・錦川孝彦(3年連続35単位以上取得)

ボランティア活動優良会員

上島 洋・藤本 武・真酒谷清・東 勝一・津田佳之
嶋谷 清・南 健一・中村茂之・徳井健一郎・西 剛志
大矢浩之・中野秀人

喜びの受賞者

定時総会の席上、施術を通して地域医療に貢献された3名の
会員に石川県知事表彰状が贈られました。

一貫した利他の姿勢を これからも徹底してまいります

この度、石川県知事表彰を賜りましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。これもひとえに、石川県柔道整復師会会長ならびに役員の皆様、会員の皆様方、そして事務局の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。これまでの柔道整復師会の一会員としての私の活動は微々たるものですが、何の実績もないなかで、総会での副議長・議長を経験させて頂いたことは貴重な体験であり、誠に感謝の念に堪えません。

入会、開業してからの一貫した利他の姿勢

「患者ファースト」をこれからも徹底し、地域の皆様の健康増進の一助となれるように貢献していくとともに、微力ながらこれからも会の発展のために力を注いでまいりたいと思います。

末筆ではございますが、今後とも皆様方からのご指導ご鞭撻のほど重ねてお願い申し上げ、受賞の喜びの言葉とさせていただきます。



坂井 秀一

感謝を忘れず 柔道整復師の仕事に邁進

この度は、第48回定時総会において馳浩石川県知事より医療功労者県知事表彰を賜わり心より御礼申し上げます。

これもひとえに嶋谷会長をはじめ、役員の皆様、諸先輩の方々、会員の皆様、恩師の先生、そして家族に支えられてのおかげと深く感謝申し上げます。皆様に感謝するとともに、身の引

き締まる思いもあります。

思い起こせば、恩師の勧めもあり柔道整復師を目指すことにしました。そして、柔道整復師となって平成4年9月に開院させて頂いてから、あっという間に30年が過ぎました。



竹野 敬治

この30年の間に多くのことを学び、たくさんの方々と出会い仕事が出来たことは私の人生にとってかけがえのないことだと、表彰の機会を頂き改めて気づくことができました。

これからも、たくさんの方々の回復に努

め、健康を支えていけるよう努力を続けたいと思います。そしてこの先も、柔道整復師の仕事に邁進していく所存です。

今後とも皆様には、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

患者さんの笑顔が 仕事を頑張るための力に

この度、第48回定時総会において馳浩石川県知事より医療功労者県知事表彰を賜り心より御礼申し上げます。これもひとえに嶋谷会長はじめ歴代会長、役員の皆様、諸先輩方、会員の皆様、本会事務局員の方々のご指導、ご支援のお陰と厚く御礼申し上げます。

振り返ると平成元年に入会・開業して早34年目を迎え、この間、様々の患者さんと出会いいろいろな経験をさせて頂きました。いろい

ろな失敗を繰り返したものと思いますが、「患者さんの笑顔」が私をこの仕事に対して頑張らせてくれたと思います。

また、今回の受賞を機に気持ちを新たに、より一層柔道整復業務に励むとともに本会の発展に寄与できるよう、また地域の皆様の健康に少しでも貢献できるよう努力をしまいたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



三国 政樹

石川県知事
表彰



馳浩石川県知事と受賞者の皆さん(左から、三国会員、竹野会員、馳知事、坂井会員)。

令和5年・6年度 役員紹介



会長
二ッ谷 剛彦

会員皆さんの声と 真摯に向き合いながら

会員の皆様には日頃より大変お世話になりありがとうございます。この度、第48回定時総会及び理事会にて5期目の副会長に選任を頂き感謝申し上げますと共に、改めて責任の重さに身が引き締まる思いです。



副会長
堂本 義邦

新型コロナウイルス感染症は感染症法上の「5類」に引き下げられコロナ禍前の日常も戻りつつあります。第9波への不安はありますが、本会も新役員体制で令和5年度がスタートしました。本会の会務運営、各事業の形態を考慮しながら、また、二ッ谷剛彦会長はじめ西川典孝副会長、各理事の皆様のご協力を得ながら総務部、経理部、学術部を担当し、本会発展のため

職務を全うする所存です。会員皆様のため、そして県民の皆様のために有意義な活動や社会貢献ができるよう、役員一同、ご意見の傾聴に努め職責を果たしてまいりたいと思います。今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

会員が一つになって

この度、第48回定時総会、続いて第324回理事会におきまして副会長の大役を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。今まで務めてきた事業・保険・総務での経験をさらに活かし、保険・事業・広報を統括しながら進めていきたいと思っています。



副会長
西川 典孝

新型コロナウイルス感染症も5類感染症へ移行となり国内外では以前の活気が戻ってきたようですが、我が業界は未だ先が見えません。しかし、手をこまねているわけにはいきません。社会から必要とされ信頼されるために、会員同士が一つになり、理事全員が一丸となって少しでも盛り上げていけば、必ず道は開けます。本会では、フレイル予防等を取り入れた新しい機能訓練、また匠の技 伝承プロジェクトや超音波観察装置を使用した試みも始まっています。保険取扱に関しても、少しでも会員のためになるよう働きかけていきたいと思っています。

二ッ谷会長、堂本副会長とともに本会を支え、会員皆様のための「公益社団法人石川県柔道整復師会」にしていきたいと思っております。何とぞご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年・6年度 理事紹介

今期にかける想い、決意をひと言で！
理事の皆さんに語っていただきました。

この度、11期目の理事に再選頂き、事業部長を拝命しました。正副会長・理事・部員・委員・事務局の皆さんとともに協力しながら本会与皆様にお仕えしていく所存です。皆様のご意見を頂きながら各部と連携を取り、本会の事業が有益でより良いものとなるよう工夫したいと思います。ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



山田 俊志
(能登支部)

この度、7期目の理事に就任させて頂き、金沢北支部長・保険部長を拝命いたしました。金沢北支部事業は理事・委員と共に力を合わせて運営し、保険部では最新の情報発信と保険請求の問題解決に努め、保険部の総力を挙げて行政・各保険者と折衝を行います。

会員皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



真酒谷 清
(金沢北支部)

監事

大徳 勇
(金沢北支部)



前年度に引き続き、経理部長・法制委員長を拝命しました。昨今の会員皆様の収入減少、またそれに伴う定率会費の減少により緊縮財政を強いられていますが、皆様からお預かりした限られた予算の中で、適正な会計処理に努めることはもちろん、経理的視点から各事業運営の効率化を図ります。本会顧問 中山雅人税理士と西雅哉弁護士のお力を借りながら、本会発展の一助となるべく努力いたします。会員の皆様には引き続きご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



津田 佳之
(金沢南支部)

今期、総務部長を拝命いたしました川上です。総務部として、いままでより一層広い視野をもって職務に専念する所存です。一丸となり、公益社団法人石川県柔道整復師会の発展に邁進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



川上 勝
(金沢南支部)

この度、2期目の学術部長を拝命いたしました。前年度は、コロナ禍ではありましたが、文化講演会や学術講演会など、多くの事業を開催することが出来ました。これも、皆様からのご指導とご支援のお陰です。ありがとうございました。今年度も、これからの時代に学術部が求められることは何かをしっかりと考え、向き合い、取り組んでいく所存です。倍旧のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



西 剛志
(加賀支部)

この度、理事に再選させて頂き、広報部長を拝命いたしました。はじめての部長職ということで、大変身の引き締まる思いです。

広報誌作成においては、歴代広報部が築き上げたものを大切に守りながらも、読者の皆さんに楽しんで頂ける新たな取り組みにも挑戦したいと思っております。また、ホームページ・SNSを利用した広報活動にも積極的に取り組み、情報発信していく所存です。会員各位には今後ともご指導ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



森田 一哉
(加賀支部)

は引き続きご指導ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

3期目を迎える今年度は、前期に引き続いての総務副部長・IT委員長と新たに経理副部長を拝命いたしました。これまで広報副部長、総務副部長と経験させて頂く中で勉強したことを生かし、理事、部員、委員の方々と共に本会のために努力いたしますので、皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。



山田 誠
(能登支部)

この度、前期より引き続き経理副部長を、また新たに広報副部長を拝命しました。3期目を迎え、これまで以上に経理面では適正化、広報面では正確、迅速な情報提供をモットーに努力して頑張りたいと思います。会員の皆様に



中西 勝
(金沢北支部)

定時総会役員選挙にて理事に選任され、2期目を迎えました。会員の皆様にはご支援頂き感謝しております。1期目に続き、学術副部長・事業副部長を仰せつかりました。両部長の下、微力ではありま

すが会員の皆様と本会発展のため、出来る限りの努力してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大平 和幸
(金沢北支部)

新しい体制で臨む令和5年度に向けて、決意を述べる二ツ谷会長。



投票により選出された役員・理事の皆さん。



今年度より理事に就任させて頂き、広報副部長、事業副部長を拝命しました。本会の職務を行うにあたって不慣れなことが多々あり、これからたくさん勉強していかなければなりません、



中川 渉
(金沢南支部)

先輩理事のご指導を頂きながら会員の先生方のお役に立てるようにしっかり努力してまいります。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

今総会で退任された嶋谷清前会長より、本誌にご挨拶の言葉を寄せて頂きました。



嶋谷 清

感謝！会員皆様のご協力があったからこそその8年間でした。

夢と希望に胸を躍らせて昭和55年に社団法人石川県柔道整復師会に入会し早43年の歳月が過ぎました。昭和58年より学術部員を任命され、平成9年に理事に就任し、平成21年に副会長、平成27年より前会長の故木山時雨先生より後継指名を頂き、会長職を拝命し8年が過ぎました。また平成29年より日本柔道整復師会の監事を8年間務め、全国の同志の考え方に触れ、業界の諸問題や将来の課題等について話を伺う機会を頂いたことも有意義であり、私も勉強させて頂きました。

本会の事業活動を遂行する中で最大の事案は、2007年の能登半島地震と2011年の東日本大震災でした。県や日本赤十字の協力を得て門前町、そして東北各地の被災地へと赴き、会員が一丸となって活動させて頂いたことが、本会の災害時の救護活動に対する意識如上の要因となりました。

また令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大では社会生活の全てが縮小を余儀なくされ、当会も公益事業、共益事業と

もに縮小、中止をしました。我々がこの大きな社会問題を乗り越えるため、新たな会議や講習会の在り方などに勉強をさせて頂いたことは、今後の事業運営に大きく影響を与えていくでしょう。いずれにおきましても会員皆様のご理解とご協力がなくては乗り越えられなかったことであり、その努力が、結果として地域社会から評価を頂くことにつながると思います。

最後になりますが、これまで業界を超えて本当に多くの皆様方のお支えを頂きました。ご指導、ご厚情を頂いたことは、私個人はもとより当会においても大きな財産となったと思っております。とりわけ各行政関係機関の皆様方をはじめ、お世話になりました方々に誌面を借りて心より御礼申し上げます。

会員皆様方には、ご自身の思いだけで行動する前に対話と傾聴、そして気配り心配りを持って更なる業界発展のためにご協力くださいますようお願い申し上げます、あわせて皆様方の益々のご健康とご繁栄を祈念申し上げます退任の挨拶とさせていただきます。

※嶋谷前会長には特別顧問として今後もご指導を頂きます。よろしくお願いいたします。



災害現場での 柔道整復師の活動

4回にわたる特集で、昔から親しまれてきた接骨師やほねつぎの正式名称が「柔道整復師」であること、ご近所の接骨院の“先生”が国家資格を持った柔道整復師であることなどを柔道整復術のルーツも含めて掲載してきました。

特集5回目は、地震などの災害時における柔道整復師の活動についてご紹介します。

〔特集〕
柔道整復師⑤

1 医療資源の少ない災害現場で生きる手技

骨折・脱臼の整復・固定ができる のは医師以外で柔道整復師だけ

柔道整復師はケガに対し、手術をしない「非観血的療法」である整復・固定・後療(リハビリテーション)などを施すことによって腫れや痛みを軽減させ、人間の持つ治癒能力を最大限に発揮させることで早期の日常生活復帰に努めています。

骨折・脱臼の場合は整復・固定の応急手当てを実施し、医師の同意のもとで施術を行うことができます。この行為ができるのは医師以外では柔道整復師だけです。

このように自らの手で施術ができる柔道整復師は、医療資源の少ない災害等の現場で職種の特性を役立てた活動を展開できます。

全国の柔道整復師たちが 災害時に活躍

地震などの災害時には、全国の柔道整復師が医療救護活動を行っています。日本だけでなく、今年2月に発生したトルコ・シリア地震の国際緊急援助隊医療チームとして活動を行った柔道整復師もいます。



16年前の能登半島地震で本会は、避難所での医療救護ボランティアを実施した。

2 石川県柔道整復師会の災害救護活動

能登と東北、 2か所での活動が財産に

いざ災害などが起きたとき、本会では会員からボランティアを募り被災地での救護活動にあたっています。日々の業務に加えて、職種を活かした柔道整復師だからこそできる災害救護活動で地域住民の方々のお役に立てることを喜ばしく誇りに感じています。

Case1 能登半島地震 <2007年3月25日発生>

16年前、石川県能登半島でM6.9の地震が発生。住宅の倒壊や道路の崩落など大きな被害があり、避難所47か所に負傷者を含む多くの住民が避難しました。本会では直ちに対策本部を立ち上げ、被災地近くの会員が地震発生当日から各避難所で医療救護を開始しました。また、被災地のボランティア受け入れ開始と同時に申し込みを行い、地震発生から1週間後に会員有志56名でサポート隊を結成。15班に分れ、15か所の避難所において医療救護ボランティアを行いました。

被災者の中には、骨折やケガを放置していた方や避難生活で身体に疼痛が出ている方もおられ、我々柔道整復師を必要としている方が多くいることが分かりました。

56名の会員が能登でのボランティアに参加した。

Case2 東日本大震災 <2011年3月11日発生>

能登半島地震の4年後、東日本大震災が発生しました。発生から2か月後の5月12日、日本柔道整復師会(以下、日整)からの派遣依頼を受けて会員21名でボランティアチームを結成、宮城県柔道整復師会担当者の指示を頂きながら5月23日から5日間にわたるボランティア活動を実施しました。

長期化する避難所生活で被災者の健康状態が懸念されるなか21名は3つの班にわかれて計16か所の避難所を訪問し、時には医師・看護師など他業種の方と合同で、また自衛隊医療班の巡回医師と連携しながら活動にあたりました。その内容は柔道整復師としての施術を中心に震災で通院できなくなった方への後療、エコノミー症候群や廃用症候群の予防、身体の痛みに対するの施術、体操・ストレッチの指導、機能訓練、健康相談などでした。



3つの班が交代で宮城県内16か所の避難所で活動にあたった。



3 今後の活動は

柔道整復師の力を発揮できる システム構築に着手

日整災害対策室は現在、日本DMAT(災害派遣医療チーム)や他の医療職種との連携をはかりながら、救助現場から復興までどのように活躍できるのか日整としての体制作りを進めていくことが重要と考え、「柔道整復師の力を災害現場から社会に役立てる」という活動目標を設定しています。

今現在、全国にある多くの柔道整復師会は都道府県自治体または日本赤十字社都道府県支部との災害協定などにより、それぞれの活動内容や方法を取り決めています。日整ではこのような活動に加えて、全国の柔道整復師会会員の力を相互活用できるシステムの構築を目指してい

ます。全国の柔道整復師会で登録された「災害担当者」の中から、各地域で中心となって活動するキーパーソンを選出し、「全国で動ける実働部隊」を組織・編成していきたいと考えています。

大規模な自然災害が頻発するなか、防災・減災・復興に対して全国の柔道整復師の力をつなげられるようなシステムが構築されていくことに期待し、本会も地域住民のためにスキルを高めていきたいと思ひます。

- あなたの町の接骨院は筋肉や関節など運動器に関する専門家です。スポーツや運動していた時、ケガや痛みを感じたときにお気軽にご相談ください。



(公社)石川県柔道整復師会 あなたの町の接骨院
URL <https://jyuusei-ishikawa.jp/anatanomati.html>

大地震発生時の珠洲へ

会員を見舞い、避難所を視察

令和5年5月5日午後2時42分に能登地方を震源とする地震が発生し、珠洲市で震度6強、能登町震度5強、輪島市で震度5弱を観測しました。また同日午後9時58分にも珠洲市で震度5強を観測する地震が発生しています。

珠洲市を中心に多くの住宅が全壊、半壊したほか、地場産業の七輪製造元などの事業所も大打撃を受けました。珠洲市で1人が死亡し重傷者が出るなど人的被害も報告されています。

本会では地震発生後直ちに地震安否確認システム等で会員の被害状況を確認。5月7日に、会長、副会長、総務部長など8名が被災

地域の会員を見舞い、現地の被害状況や避難所の視察を行いました。

地震当初は珠洲市で最大20か所の避難所が設置されましたが、10日に3か所、11日には1か所となり、今回は救護ボランティア活動の要請はありませんでした。しかし、全壊した家屋を目の当たりにし、万一の時に素早く活動に入る仕組みづくりが重要だと痛感しました。



公益社団法人石川県柔道整復師会では施術者としてのスキルに磨きをかけるため様々な講演会、研修会を実施しています。

公開学術講演会

開催日 ■ 令和5年2月26日(日)

会場 ■ 石川県地場産業振興センター新館

私の運動活動歴

講師／土田整形外科クリニック 院長
土田 敏典先生

公益社団法人石川県柔道整復師会主催の学術講演会が会場での聴講とオンラインのハイブリット形式で行われ、一般の方を含む約150名が参加。スポーツ大会の運営や救護ボランティアに長年携わり、ご自身もスポーツを楽しまれている土田敏典先生の講演に熱心に耳を傾けていました。



PROFILE

金沢大学医学部卒業
日本整形外科学会認定専門医
日本リハビリテーション医学会認定専門医
日本リウマチ学会認定専門医
日本体育協会公認スポーツ医

II 運動活動歴のスタートは大学時代

土田先生は石川県七尾市のご出身で、昭和30年当時の実家の風景、親戚の方々との思い出、高校では担任の先生に大変お世話になったことなど、ご自身の背景を様々な写真で見せながら講演に入りました。

土田先生の本格的な「運動活動歴」は金沢大学医学部入学早々、医学部ラグビー部の勧誘を受けたところから始まります。高校卒業までほとんど運動をしてこなかったため、ハードな練習についていけるか不安がありました。大学在籍の6年間、ラグビーと勉学を両立できたことがその後の自身の「運動活動歴」の土台となっていると述べられました。

金沢大学医学部整形外科医局に入局後の1986年、医局の先輩からの誘いで小松鉄人レ

ースに出場することになりました。その先輩は1982年の第一回大会からチームの部でレースに出場していたのですが、その年は1人欠員が出たため声がかかったのです。

小松鉄人レースはデュアスロンの大会で、チームの部は3人でバイク70キロ、動山(ゆるぎやま)登山606メートル、ラン20キロを走破しました。その時の記録が6時間40分。大変つらい思いをしましたが、また挑戦したいという気持ちが芽生え、その後も小松鉄人レースに出場し続けるきっかけとなったとのこと。また去年は、コロナ禍で3年ぶりの開催となった小松鉄人レースショートの部に出場しました



講演の様子は、会場での聴講のほかオンラインでも配信された。

が、以前と違いタイムを気にせず楽しんで走ることが出来たともおっしゃいました。

土田先生がスポーツ大会でボランティアをされることになった原点は七尾にあると言います。2005年に七尾市の恵寿総合病院に勤務されているときに開催された第1回七尾湾岸トライアスロン大会、その前年に行われた全日本学生トライアスロン大会が参加者から大変評判がよく、その後一般参加者の大会を開催することとなり、大会の運営や救護のボランティアとして10年間携わり、その時の経験が、現在の金沢マラソンでのボランティア活動の原点になっているそうです。



レントゲン画像を見ながら詳しく説明する土田先生。

Ⅱ 柔道整復師が注意すべき症例は

次に整形外科医の立場から、柔道整復師の日々の施術の中で注意してほしい症例についての説明がありました。一つは、手指、足指の脱臼、亜脱臼において、骨折を伴う脱臼や関節包・側副靭帯が嵌り入り修復困難になった症例で、

レントゲン画像を交え詳細に解説して頂きました。また、上腕骨の痛みで胃癌の骨転移が、股関節の痛みで軟骨芽細胞腫が見つかった症例を紹介され、「柔道整復師の皆さんは少しでも怪しい、心配だと思ったときは整形外科への受診をすすめて頂きたい」と述べられました。

Ⅲ スポーツマンシップの大切さ

土田先生は昨年、元星稜高校野球部監督の山下智茂氏の講演を聞かれ大変な感銘を受けたそうです。「スポーツマンシップ」の反対の言葉として「ゲームズマンシップ」という言葉があり、最近では小学生に無理な減量を強いたり、外野からの言葉の問題など、行き過ぎた勝利至上主義の影響で小学5・6年生の全国少年柔道大会が中止された例もあります。改めて指導者は、試合に勝つことだけでなく、ルールの順守、周りの人々への感謝、競技相手に礼儀を尽くすことなど、「スポーツマンシップ」の大切さを子どもたちに伝えていくべきと講演を締めくくられました。

なお、会場にはトルコ・シリア大地震緊急支援の募金箱が置かれ支援を呼びかけました。

会員学術研究発表

開催日 ■ 令和5年2月26日(日)

会場 ■ 石川県地場産業振興センター新館

日々の施術をととして得た知識や情報を共有し高めあうことを目的に毎年実施しています。
令和4年度は2名の会員が、一年間の研鑽・努力の成果を発表しました。



足関節屈伸動作時の 足趾優位の動作によるリスク

金沢北支部 浅居 長太郎 会員

浅居会員は大学サッカー部のスポーツトレーナーとして活動している際に、頻りにケガをする選手と、そうでない選手との差は何かという疑問を持った。足関節の背屈動作時の大腿四頭筋(内側広筋)の連動に着目した比較や問題点など、アンケートを基にデーターを作成し考察を加えて報告した。

アンケートの結果から内側広筋は約1～1.5センチの周径差があり、足関節背屈動作が足関節優位に内側広筋の筋出力の強化が行われており、また片脚立位動作でのバランスの左右差は足趾優位の方がバランス力の低下傾向という結果が得られた。その結果か

ら、内側広筋の筋収縮がしっかりと起きることで、膝のブレーキング動作や片脚立位での安定性につながると考察した。

足関節優位に働くトレーニング方法として、①足趾屈曲位・足関節屈曲位を意識したチューブトレーニング ②バランスディスクを用いた両足・片足のスクワット動作 ③メディシンボールを使用したトレーニングを選手に1～2週間行わせた。

スポーツ復帰前とトレーニング後を比較したところ、ダッシュや切り返し動作で左右差の軽減や動作の向上が認められ、トレーニングを実践したプレーヤーの感想からも、切り返し動作や相手選手との接触の際の安定性・動作の向上が認められたことが報告された。



腰仙部の痛みと対処法

加賀支部 高熊 二夫 会員

腰痛を訴えて来院される方の中には、腰仙部に特異な所見が見られことがある。高熊会員は、腰仙部の負傷でX - P等の提供を受けた3症例を施術所での対応を含めて紹介した。

3症例は、第4・5腰椎すべり症が2症例、仙骨角の増大1症例がその本態であったと説

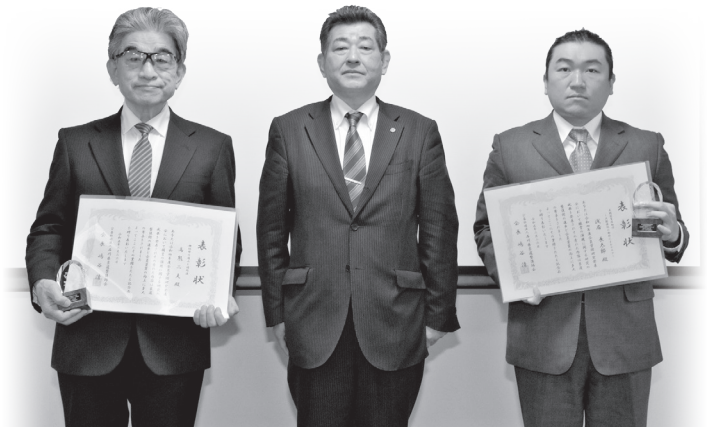
明し、施術方法として「加重軸の調整：患側下肢の膝・足関節」「大腿部前面：筋緊張の解消」「患部：腰部・背部への施術」を筋緊張の緩解と骨性の変位解消に向けて優しい手技で行っていると紹介した。

早期回復と再発予防のための指導事項として、①起き上がる際は側臥位に移行し腹筋を使わないで肩肘手を支えとし起きる ②二重コルセットを使用する ③ハンドタオル等をコル

セットと体幹との間に挟み込む ④貼るカイロは禁止 ⑤ソファで仮眠をとる際は固さと厚みのある布団の追加、膝ウラから下腿部を支える座布団の使用などを推奨 ⑥初検と再検時には温泉・サウナ・入浴を禁止 ⑦あぐら・低床タイプのソファ・柔らかなソファの使用を避けることなどをあげた。

●各発表は本会HP 会員ページの「公認私的研究会」からご覧になれます。

URL <https://jyuusei-ishikawa.jp/member/kennyuu.html>



6月18日(日)に開催される公益社団法人日本柔道整復師会北信越学会新潟大会の発表者が選考され、本会からは浅居長太郎会員が選ばれました。

会員学術勉強会

開催日 ■ 令和5年3月12日(日)

会場 ■ 柔整会館3階研修室



エコーの初歩

超音波画像観察装置を使って画像描出のコツなどを説明。

山下純二会員を講師に学術勉強会が開催され、20名の会員が参加しました。

はじめに山下会員より超音波の定義の説明があり、その特性、超音波画像用語、超音波画像の注意点、撮り方、読み取り方、超音波観察装置の特徴、使用上のルール、注意点などについて、30分にわたり詳細な解説がありました。

その後、足関節、アキレス腱、腱鞘炎について超音波画像観察装置を用いた実技指導が行われました。足関節では基本的な前距腓靭帯の描



講師/山下純二会員

出、引き出しテストを組み合わせた描出など、アキレス腱ではきれいに描出するコツ、アキレス腱断裂の注意点など、腱鞘炎については浅指屈筋腱・深指屈筋腱の描出など様々な経験談を交えながら軽妙な語り口で講義をして頂きました。

今後も定期的に超音波観察装置を中心に勉強会を開催する予定です。



北信越学術大会

開催日 ■ 令和5年6月17日(土)・18日(日)

会場 ■ ANAクラウンプラザホテル新潟

新潟大会に北信越各県から 287名が参加

(公社)日本柔道整復師会第43回北信越学術大会新潟大会が新潟市において開催され、17日に開会式と夕食会が、18日には特別講演、会員研究発表、実技発表、ワークショップ(整復固定・超音波観察装置)が行われました。

公益社団法人 日本柔道整復師会
第43回 北信越学術大会新潟大会

会員研究発表



特別講演講師の長谷川和宏先生。

特別公演は亀田第一病院・新潟脊椎外科センター長の長谷川和宏先生を講師に行われました。演題は「患者さんは我が教師」。長谷川先生は長年の診療経験の中から5つの症例に対しての治療方針、手術、長期の術後経過を見ることで、患者さんから様々なことを学ばせて頂いたとおっしゃいます。また、中南米のキューバに招かれ現地の医師たちと手術をした経験をお持ちで、キューバの英雄チェ・ゲバラは革命家でありながら医師でもあり、どんなに貧しい人でも平等に医療が受けられる社会になることを願っていたことなどを述べられました。

続いて各県から6席の会員研究発表があり、石川県代表として金沢北支部の浅居長太郎会員が発表を行いました。なお表彰式では浅居会員に続き、長年の学術の研鑽に対し本会の磯松俊也会員に学術功労賞が授与されました。



磯松会員に学術功労賞が授与された。

「足関節屈伸動作時の足趾優位の動作によるリスク」 浅居長太郎会員

大学サッカー部のトレーナーとして活動している際、頻繁にケガをする選手と、そうでない選手との差は何かと疑問に思い、足関節の背屈動作時の大腿四頭筋(内側広筋)の連動に着目し比較や問題点など、アンケートを基にデータを作成し考察を加えて発表しました。



浅居会員の発表では本会の西剛志学術部長が座長を務めた。



午後1時10分より行われたワークショップでは、日整学術教育部長森川伸治先生が「日整学術大会の在り方」について述べられ後、佐藤和伸先生の超音波観察装置、山口登一郎先生のクラメル副子を用いた整復固定について実技指導が行われました。



超音波画像装置の実技指導。

※詳細については学会誌抄録をご参照ください。

第36回(公社)石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会

松任柔道スポーツ少年団 見事な連覇を飾る

5月14日(日)、松任総合運動公園啓武館にて、第36回(公社)石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会が開催されました。10日前に発生した大地震の余波が残る中、県内各地より19チーム87名の選手が参加し熱戦が繰り広げられました。

安全を最優先に、今年も個人戦を断念

新型コロナウイルスによる2年間の中止や規模縮小を乗り越え、今年こそは通常の開催をと意気込んでいた今大会でしたが、たまたま中学生の全国剣道大会が同じ日に開催され会場も重なってしまいました。当日は啓武館に日本中から剣道の選手たちが集まるため、感染予防に配慮して保護者の観戦は遠慮してもらい、さらに団体戦だけで開催することになりました。それでも県内各地より19チームが参加、子どもたちの熱戦に会場は歓声に包まれました。

また大会直前の5月5日には県下を揺らす震度6の地震が発生しその影響が心配されましたが、特に揺れの大きかった能登地区からも輪島市、中能登町、志賀町、羽咋市から選手が参加し、声援を浴びていました。

悔いのないように試合に臨んでくださいと嶋谷会長。



【団体戦】

優勝 松任柔道スポーツ少年団
準優勝 鶴来坂田道場
3位 全日本柔道少年団小松分団
邑知少年柔道教室



2連覇を決めた松任柔道スポーツ少年団の皆さん。

開会式の挨拶では嶋谷清会長が「今柔道ができること、毎日好きなご飯が食べられること、育ててくれる親御さん、そして毎日柔道を指導して下さる先生方に感謝し、勝敗にこだわらず、悔いのないよう一生懸命、本気で試合に臨んでください」と選手を激励し、選手を代表して加賀聖武館の金森叶真選手が元気よく選手宣誓を行いました。

選手を代表して加賀聖武館の金森叶真選手が宣誓を行った。





注目の決勝は松任柔道スポーツ少年団と鶴来坂田道場の対戦に。

注目の決勝は、昨年に続いて連覇を目指す松任柔道スポーツ少年団と鶴来坂田道場が対戦しました。激しい攻防の末、松任柔道スポーツ少年団が見事連覇を飾り、会場から大きな拍手が送られました。

■ますます素晴らしい大会へと育てていきたい

本会が公益社団法人として開催する少年柔道大会の大きな目的である「子供たちが柔道を通じて健全な心、技、体を養い、大きく成長して社会の一員として貢献できるようになってもらいたい」という趣旨にご理解を頂き、石川県柔道連盟および白山市柔道協会役員、各柔道教室の指導者や保護者の方々、その他多くの方々の協力と支援があつてこそ、コロナを乗り越え今年も開催できました。これからも事業部を中心に素晴らしい大会にしていきたいと関係者一同願っています。



全力でぶつかる子ども達。
熱戦が続く！



個人表彰をされた皆さん
おめでとうございます！

【最優秀選手】

開 龍弥(松任柔道スポーツ少年団)

【優秀選手】

供村 裕志(松任柔道スポーツ少年団)

中野 正都(鶴来坂田道場)

高岡 慶(全日本柔道少年団小松分団)

松浦 祐樹(邑知少年柔道教室)

加賀温泉郷マラソン2023

令和5年4月16日(日)加賀市陸上競技場をスタートし片山津・山代・山中の3つの温泉郷を走り抜ける加賀温泉郷マラソンが開催され、フルマラソンの部と10キロ、2キロのコースを走るファンランの部に全国から4,500名の選手が参加しました。

大会当日は曇りで気温14度と肌寒く、途中、晴れ間がのぞいたり土砂降りになったりと目まぐるしく天候が変わるコンディションでしたが、フルマラソンに参加した馳浩石川県知事やゲストの増田明美さんはじめ出場した選手たちは、沿道のスタッフからの声援を受けながら元気いっぱい春の加賀路を駆け抜けました。



エイドのスタッフも懸命の声援を送る。



ここから上り坂!頑張って~!!

(公社)石川県柔道整復師会・サポート接骨石川(SS I)は、この大会のスタッフの一員としてボランティア活動を実施。8名の会員が、ゴール本部や各エイドにて医師会の先生や看護師、消防士の方々と共に出場選手への救護活動を行いました。



医師や看護師、消防士の皆さんと連携して活動した。



ゴール本部では、午後12時を過ぎるころからフルマラソンを完走した選手が次々と救護ブースに押しかけました。筋痙攣などの対応に追われながらストレッチの指導やテーピングを行い、救護活動終了の3時30分までの間にゴールと各エイド合わせて30名ほどの選手の処置を行うことができました。

来年は今年の反省点を生かし、さらに良い救護活動を行えるよう頑張りたいと思います。



各エイドに雨に濡れた選手たちが次々と訪れる。





サポート接骨石川 (SSI) 活動②

第72回 金沢百万石まつり

令和5年6月2日(金)から4日(日)の3日間、金沢百万石まつりが開催され、本会の赤十字奉仕団・サポート接骨石川 (SSI) は日本赤十字社石川支部の要請で救護活動を実施。6月3日(土)の百万石行列と百万石踊り流しで各専門の奉仕団の方々とともにボランティアに参加しました。

百万石行列は金沢百万石まつりのメイン行事です。新型コロナウイルスの5類移行に伴って4年ぶりの通常開催となり、39万人の観客が沿道から煌びやかな行列を見守りました。前日に予定されていた子ども提灯太鼓行列が大雨により



救護・迷子センターで対応にあたった。

中止となり、百万石行列の実施も危ぶまれましたが、当日は一転、天候に恵まれました。

金沢百万石まつりでは毎年、日本赤十字社石川支部の要請を受けて様々な専門分野の奉仕団の方々が集まって祭りの安全のため活動していますが、今年は総勢116名での実施となりました。本会としては、新型コロナウイルスが5類



お松の方
細野まひるさん

利家公
市川右團次さん

市民参加の百万石踊り流しとともに移動。

へ移行されたものの感染が収まったわけではないとの判断で、最少人数の4名の会員で参加。柔道整復師会赤十字奉仕団として転倒による打撲、擦過傷、熱中症(疑い)の方の手当て等、救護活動にあたりました。

本会の金沢百万石まつり救護への参加も今年で11回目となり、各団体との交流が広がり大変有意義な活動となっています。日本赤十字社石川支部の方からも「今年も支援して頂きありがとうございます」とのお言葉を頂きました。様々な方に喜んでいただける救護活動に今後も参加していきたいと思います。



本会からは4名が参加した。



一緒に活動したボランティアの皆さん。

新体の常識

ちょっと前までは常識だったことが、常識でなくなっていた!なんてことも。今回は誰でも気軽にできるストレッチについて考えてみましょう。

～ストレッチ編～

心の疲れにも効果

準備運動や健康法として広く認知され、最近では美しい姿勢の保持や心の疲れを取る効果でも注目されているストレッチ。今回はその種類や効果など、知って頂きたい情報をまとめました。具体的なやり方は本誌(viva city 20~22号)の「教えて先生!」のコーナーをご参照ください。

※「viva city」のバックナンバーは本会ホームページのバナーからご覧頂けます。

— 代表的な種類は4つ —

ストレッチには様々な種類がありますが代表的なものとして次の4つに分類できます。

①スタティックストレッチ(静的)

自分で行う。30秒程度静かに筋肉を伸ばすもので、一番故障のリスクが少ない。

②ダイナミックストレッチ(動的)

自分で行い、ラジオ体操のように動きを伴ったもの(反動を用いない)。

③バリスティックストレッチ

自分で行い、動きを伴ったもの(反動を用いる)。

④パートナーストレッチ

パートナーについてもらい、姿勢を固定して抵抗をかけて行う。可動域をより広げることができて効果的な反面、パートナーには高い技術が必要。

— 期待できる効果は? —

①運動前後のウォームアップ・クールダウン

運動前に種目に応じて身体を動かしながら行う

ダイナミックストレッチを取り入れると効果的です。ただし、特定の筋肉に過度なスタティックストレッチを行うと、筋力・パワーが低下する可能性があります。

運動後は収縮した筋肉の長さを戻し神経反射を緩めるため、スタティックストレッチを取り入れましょう。反動をつけずゆっくりと筋肉を伸ばしてあげてください。使った筋肉は左右均等でなくその日によってハリや硬さが違うため、伸ばす時間を気にせず気持ちいいと感じるところまでこまめに伸ばすと効果的です。

②柔軟なカラダ作り

ストレッチを継続すると、筋肉の緊張がほぐれ関節の可動域が広がります。身体が硬い方、ケガなどで柔軟性が落ちてしまった方は、気持ちよく伸ばせるところまで30秒程度伸ばし、そのあとゆっくり大きく動かすことを意識してみてください。最初は硬かったところも、続けると柔らかくなっていきます。

③リラクゼーション・疲労回復

全身のストレッチを30分程度行い、その前後で脳波や自律神経活動がどのように働いているか測定する実験がありました。その結果、前頭葉で発生するα波の増加や心拍数の低下が認められ、ストレッチには副交感神経の働きを優位にさせリラクゼーション効果があることがわかりました。

多彩な種類があり、それぞれ効果が期待できるストレッチ。上手に活用して身体のケアにお役立てください。

教えて先生!



コルセットの正しい付け方は?



重い物を持ったときに腰が“ギクツ”となったので慌てて、家にあったコルセットを付けました。でも、あまり効果がないようなんですけど。

そうおっしゃる患者さんは少なくないんですよ。でも付け方をよく見てみると、コルセットが上下逆さまだったり、腹巻のようにお腹を中心に巻いていたり。これでは、効果が得られません。



おへその辺りでしっかりと巻けばいいのだと思ってました。

コルセットの目的は、お腹の圧を高め、腰の周りを安定させて、腰の負担を軽くすること。なので、コルセットを付ける位置が重要なんだ。コルセットの上部がおへその辺りにくるような目安で、骨盤を包むように装着しましょう。巻き方が弱すぎると効果はありませんし、強すぎてもダメ。深く呼吸しても息苦しくないか、食後でも苦しくないか、確かめながら調節しましょう。



コルセットを付けていると、蒸れて痒くなってくるんですが。

暑い時期は特に気になるね。汗をかぶれることを防ぐため、肌に直接でなく、肌着の上から付けることをおすすめします。



コルセットは巻く位置が大事!



これではだだの腹巻!



巻く位置はおへその下、骨盤を包むように

わからないことがあれば、
接骨院の先生にご相談ください。

まとめ

- コルセットの上部はおへその辺り、骨盤を包むように付けましょう。
- 巻き具合は、強すぎず弱すぎず。呼吸や食事に支障がないように。
- 汗をかぶれないように肌着の上から付けましょう。



第29回

石川県柔道整復師協同組合 通常総会開催



第29回 通常総会

午後1時40分開会

組合員数 / 291名
出席者数 / 84名
委任者数 / 151名
欠席者 / 56名

令和5年5月21日(日)午後1時40分より石川県地場産業振興センターにおいて、第29回石川県柔道整復師協同組合通常総会が開催されました。総会に先立って「10年表彰」が行われ、北川隆之、長永孝仁、津田佳之、高出伸也の4名の組合員が表彰されました。

令和5年5月21日(日)午後1時40分より石川県地場産業振興センターにおいて、第29回石川県柔道整復師協同組合通常総会が開催されました。総会に先立って「10年表彰」が行われ、北川隆之、



組合の精神を大切に、活動を進めたいと橋本理事長。

長永孝仁、津田佳之、高出伸也の4名の組合員が表彰されました。審議を前に橋本大衛理事長より挨拶があり、「令和4年度は新型コロナの影響、ウクライナ情勢による物価高騰にもかかわらず、多くの労働者の賃金は上がらず大変厳しい状況となりました。当会としても従来通りの事業活動が出来なかったため、3月に教育情報事業として組合員

の皆様には図書カードを配布させて頂きました。まだまだ厳しい経済状況が続いておりますが、組合の理念である相互扶助の精神のもと、初心に帰って中央会のご指導を受けながら組合運営に取り組んでまいります」と述べました。

その後、議長に坂井秀一組合員(金沢南支部)が選出され、審議が行われました。



全国中小企業団体中央会の中村明専務理事よりご挨拶を頂いた。



坂井議長の進行により審議が進められた。

10年表彰を受賞された皆さん。



【議 事】

- 第1号議案 **令和4年度事業報告**
 担当/山崎一平 総務委員長
- 第2号議案 **令和4年度決算報告及び余剰金処分
 案並びに監査報告**
 担当/岡本透 財務副委員長
 監査報告/田村修一 監事
- 第3号議案 **令和5年度事業計画(案)**
 担当/山崎一平 総務委員長
- 第4号議案 **令和5年度収支予算(案)**
 担当/岡本透 財務副委員長
- 第5号議案 **役員改選の件**
 連記制無記名投票により10名の役
 員が選出された

以上、全ての議事承認が終了し、議長退席後閉会となりました。



退任の挨拶を行う高出理事。

また、今期をもって退任する高出伸也理事より、挨拶がありました。

◆ 第16期(令和5年・6年度)役員構成

- 理事長** 橋本 大衛
- 専務理事** 岡本 透
- 理事** 山崎一平・津田 佳之・南野 立志
 真酒谷 清・川上 勝・赤池 央成
 藤田 宏幸
- 監 事** 田村 修一

◆ 第16期(令和5年・6年度)委員構成

- 総 務** 委員 長 山崎一平
 副委員長 真酒谷 清・藤田 宏幸
 南野 立志
 委 員 中野 秀人・廣瀬 淳
 大内 康弘
- 財 務** 委員 長 南野 立志
 副委員長 赤池 央成
 委 員 木藤 正幸
- 購買促進** 委員 長 川上 勝
 副委員長 藤田 宏幸
 委 員 桶谷 靖夫・木山 隆久
 谷村 力
- 福利厚生** 委員 長 真酒谷 清
 副委員長 赤池 央成
 委 員 村 扶希子・吉田 宣正
- 教育情報** 委員 長 津田 佳之
 副委員長 川上 勝
 委 員 北川 隆之・堀松 郁子
 中村 克章
- 選挙管理** 委員 長 三国 政樹
 委 員 宇野 幸治・中越 昌人
 唐木 均・北浦 久
 藤森 優・北川 丈



新役員の皆さん。

secret spot

あなたの知らない石川県

日本で唯一の哲学の博物館 西田幾多郎記念哲学館

「日本哲学の父」と呼ばれ世界的にも有名なのに、知られているのは名前くらい。それ以外のことは地元民でもさっぱりわからないという人物がいます。哲学界のビクネーム「西田幾多郎」がその人ですが、実は彼、世界一有名な石川県民でした。

明治維新から2年後、宇ノ気で庄屋の長男として生まれた西田幾多郎。「日本哲学の父」と呼ばれ大きな軌跡を残した人ですが、その人生には父親との確執、家の没落、自身の離婚・再婚、肉親との別れなど、苦難と不幸がついて回りました。おまけに19歳で入った石川県師範学校を合わないからと中退し、金沢四校に入学するも退学。東京帝国大学哲学科を卒業した後も激しいアップダウンは続き、京都帝国大学の助教授としての授業をまとめた「善の研究」を出版したのは42歳のことです。

この「善の研究」がセンセーションを巻き起こします。当時の知識人、学生の必読書となり、100万部の大ベストセラーに。どの書店も売り切れで、入荷すると聞けば徹夜で行列に並ぶ人も出るという、まるでスマホの新機種発売のような騒ぎだったそうです。当時の人々にとっては、新しい世界を開いてくれる現代のスマホのようなものだったのでしょうか。そしてこの本は海を越えてヨーロッパへ。西洋の哲学と大乗

哲学館のそばの「思索の道」。

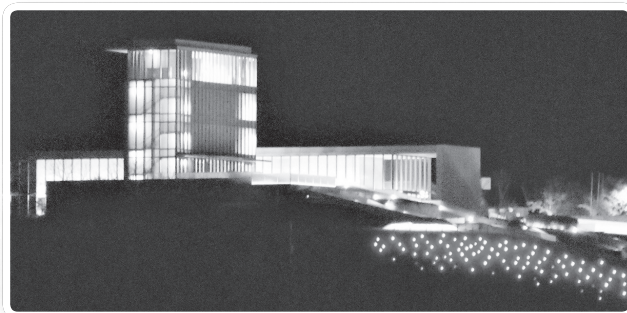
世界的な建築家が設計した世界的な哲学者のための建物。まるでドラゴンボールとスーパーマリオがタッグを組んだような博物館です。

宇野気駅前の西田幾多郎像。

仏教の思想が合体した新しい哲学として驚きをもって受け入れられました。

宇野気駅の前に西田幾多郎の銅像が立っています。眼鏡をかけた「ちびまる子の友蔵じいさん」のようですが、実は世界で最も有名な石川県民だったのです。しかしその業績を知る人は少ない。そこで建てられたのが「西田幾多郎記念哲学館」で、幾多郎が海を見ながら散策したという丘の上に佇んでいます。設計者は世界的に有名な安藤忠雄。幾多郎の業績やゆかりの品々の紹介、迷路のように入り組んだ空間には自分の頭で考えるための仕掛けが幾つもあり、体験しながら哲学に触れ学ぶことができるようになっています。夜は連日ライトアップされています。美しいのですが、目立ちすぎて「いかがわしいホテル」を連想してしまったりして、本当に申し訳ありませんでした。

あなたの知らない「西田幾多郎記念哲学館」。金沢から北へ20キロ。入館料たった300円。行くか行かないかはあなた次第です。



毎晩、美しくライトアップされる。

Topics -トピックス-

トピックス①

各支部で保険講習会を開催 医療費の動向、柔整業界の展望を説明

令和4年11月27日(日)から令和5年1月29日(日)にかけて、各支部で保険講習会が行われました。

真酒谷清保健部長からは「医療費の動向について」をテーマに、令和3年度の医療費の現状や柔道整復師の料金改定、さらに審査会からの注意点や明細書発行体制への加算などについて、詳しく説明がなされました。



真酒谷 清保健部長

また、ニッ谷剛彦副会長からは柔整療養費について、機能訓練指導マニュアルの進捗状況、今後の柔整業界の展望について説明がありました。



ニッ谷 剛彦副会長

各支部の講習会ともに多くの会員が参加し、講義の終了後に質疑応答の時間が設けられ、会員からは、柔整業界ではいつ頃から従来の健康保険証からマイナンバーカードに移行するのか、また、カードやpaypayといった電子決済導入についての日整の見解などへの質問があり、熱心なやり取りに会員皆さんの熱意が感じられる有意義な講習会となりました。

能登支部



日時: 令和4年11月27日(日)
午前9時30分から
会場: 七尾市サンライフプラザ

金沢南支部・ 金沢北支部合同



日時: 令和5年1月15日(日)
午前10時から
会場: ホテル金沢

加賀支部



日時: 令和5年1月29日(日)
午前9時から
会場: 小松市第一地区コミュニティセンター

トピックス②

令和5年度第1回指導者養成講習会 本会から2名が受講



指導者候補が全国から集い講習を受けた。

施術技術の平準化を確立するうえで課題となる指導者を全国に育成することを目指して、(公社)日本柔道整復師会では指導者養成講習会を継続的に実施しています。令和5年4月16日(日)に日本柔整会館において、令和5年度の第1回講習会が開催されました。

今回は東日本地区を中心に24社団から指導者候補の会員が受講し、本会からは大平和幸会員と浅居長太郎会員が受講しました。

今回は外果骨折・顎関節脱臼をテーマとした講習会で、整復・固定施術の合同実技実習と超音波観察装置取扱技術実習が行われました。また実習後に指導者としての実技評価確認が実施され、両名ともにAの評価を受けました。

新入会 紹介 員

よろしくお願ひします!

金沢北支部
令和5年5月17日入会
桶谷 周平
(おけたに しゅうへい)

生年月日 昭和62年12月4日
出身校 北信越柔整専門学校
住 所 金沢市寺中町ホ6番地
接骨院名 しろくま接骨院
電 話 076-200-7703
特技・趣味 絵を描くこと・バスケットボール

加賀支部
令和5年5月17日入会
嶋谷 崇司
(しまや たかし)

生年月日 昭和54年12月8日
出身校 北信越柔整専門学校
住 所 加賀市片山津町才22-3
接骨院名 嶋谷接骨院
電 話 0761-74-0919
特技・趣味 バスケットボール・スニーカー収集

各部一覽

令和5年・6年度

渉外部	部長	西川 典孝	保険部	部長	真酒谷清
	部員	二ツ谷剛彦 堂本義邦		部員	二ツ谷剛彦 堂本義邦 西川典孝
総務部	部長	川上 勝	広報部	部長	森田一哉
	副部長	山田 誠		副部長	中西 勝 中川 渉
	部員	小倉弘行 坂田浩之 波佐谷兼潤 河村三紀 角浦大介		部員	中野秀人 太田信幸 平林祐一 森陽一朗
経理部	部長	津田佳之	事業部	部長	山田俊志
	副部長	中西 勝 山田 誠		副部長	大平和幸 中川 渉
学術部	部長	西 剛志		部員	折越幸夫 北浦健司 田村修一 竹野敬治 田中寿人
	副部長	大平和幸			
	部員	柳沢昌孝 磯松俊也 高橋真哉 堀松郁子 浅居長太郎			

各委員一覽

令和5年・6年度

法制委員会		委員長	津田佳之
副委員長	川上 勝		
委員	田村修一 山崎一平		
生涯学習委員会		委員長	西 剛志
副委員長	大平和幸		
委員	柳沢昌孝 磯松俊也 高橋真哉 堀松郁子 浅居長太郎		
裁定委員会		委員長	板橋 透
委員	野村胸勝 木山隆久 山下純二		
選挙管理委員会		委員長	三国政樹
副委員長	中越昌人		
委員	中野秀人 金谷由久 坂下竜彦 木村喜久男 大内康弘 折越幸夫 作川清隆		
健康やわら体操普及委員会		委員長	中西 勝
副委員長	中川 渉		

サポート接骨石川 (SSI)		委員長	山田俊志
副委員長	真酒谷清 津田佳之 西 剛志		
委員	理事		
日本赤十字奉仕団		委員長	二ツ谷剛彦
副委員長	堂本義邦 西川典孝		
分団長	真酒谷清 (金沢北) 津田佳之 (金沢南) 西 剛志 (加賀) 山田俊志 (能登)		
副分団長	中西 勝 大平和幸 (金沢北) 川上 勝 中川 渉 (金沢南) 森田一哉 (加賀) 山田 誠 (能登)		
IT委員会		委員長	山田 誠
副委員長	大平和幸		
介護保険対策委員会 (機能訓練フレイル予防)		委員長	西 剛志
		担当副会長	堂本義邦 西川典孝
副委員長	大平和幸		
委員	理事 坂井秀一 濱 亮輔 窪田和樹 森川達也		

❖2年間の広報部副部長を経験させて頂いたのち、今期より広報部長を拝命いたしました。歴代の広報部の先輩達が築いてきたものを大切にしながらも、ベテランの部員と新しく入ってこられた部員のアイデアを取り入れ、皆様に喜んでもらえる紙面づくりをしたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。（森田）

❖広報副部長を拝命しました。編集後記を作成していると、柔道整復師を志す前のサラリーマン時代に、苦手なパソコンの前で会議に提出する資料や文章を作っていた頃を思い出して懐かしく感じます。これから森田広報部長や広報部員の先生方と協力して、広報部の活動に一生懸命頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。（中川）

❖コロナ禍の大変な時期に広報部を牽引した山田俊志部長と、木藤正幸部員、唐木均部員が卒業されました。一緒に活動出来て楽しかった。本当にご苦労様でした。今後は森田一哉部長のもと、新体制でがんばります。それにしても私は今回で何回目の広報部なのか？広報部に私が憑りつかれているのか？はたまた私が広報部に憑りついているのか？謎は深まるばかりです。（中野）

❖今年度より広報部に所属させて頂きます。加賀支部の森陽一朗です。はじめて公益社団の部員をさせて頂くことになりました。まだまだ不慣れではありますが、少しでもお役に立てるよう精一杯頑張りますので、皆様にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。（森）

❖最近、「チョコレートが消滅する日」というコラムを読みました。現在、カカオの年間生産量が年間消費量を下回る状態で、2020年には100万トンも足りなくなると言われています。その背景には、熱帯雨林の伐採などによる気候変動や生態系のアンバランスによる病害の発生などがあり、中でも一番の理由は人間による大量消費だそうです。これからはエコロジーを考えた生活をしなければと思いました。（中西）

❖百万石まつりの救護活動に参加しました。観客で溢れかえる沿道から道一本入ったところにある屋台通りも大盛況で、ひと際人気だったのが「10円パン」。形は10円、値段は500円というパンで、後で聞くと韓国の「慶州10ウォンパン」が発祥だそうです。伸びるチーズが“映える”こともありSNSを中心に人気だそうです。私は全く知らず、世代を感じてしまいました。（平林）

❖みなさんは、ガガンボという虫をご存知でしょうか。石川県ではカトンボと呼ばれている脚の長い大きな蚊のような虫です。彼らは初夏から晩夏にかけて活動するのですが、その身体は極めて弱い構造なのでヒトに害をなすような行動は起こせないそうです。なのに、その見た目が不愉快で「不快害虫」と呼ばれ駆除の対象に。気の毒としか言いようがありません。（太田）



ピバ・シティVOL.31 石整広報117（2023年7月20日発行）

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／ニッ谷 剛彦

■編集者／西川 典孝・森田 一哉・中西 勝・中川 渉・中野 秀人・平林 祐一・太田 信幸・森陽一朗



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26

TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196

E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

URL <https://jyuusei-ishikawa.jp>



撮影 能登支部 中野 秀人 会員
使用カメラ:ニコンD72000
レンズ:タムロンSP17-50mm f2.8
絞り:f1/10 露出:1/250秒
ISO:100 焦点距離:50mm

[思索の道]

京都には西田幾多郎が思索にふけりながら歩いたという「哲学の道」がありますが、西田幾多郎記念哲学館の敷地内には、そのものずばり「思索の道」があります。

木漏れ日の中を思索しながら歩く静かな道かと思えば、撮影した日は、樹々の上から鳥達がけたたましくさえずり、「近くに巣があるのか？私がよほど不審者に見えるのか？そもそも民家の近くに、なぜこんなに鳥がいるのだ？」と、そのことばかりを思索しながら歩いた道となりました。